

2021年
9月



ちばさぽ通信

Vol.45

市民活動が地域の「安心」を支える



CONTENTS

● 事業&活動報告

- 市民活動マッチングカタログ
- 千葉市民活動フェスタ 2021

● Q&A

● ちばさぽの風 Vol.45

● 登録団体活動紹介コーナー

● ちばさぽからのお知らせ

- まちなかボランティア養成講座
- 専門家による個別相談
- 市民活動ステップアップ講座
- 話し方実践講座



表紙の写真

日本防災士会千葉県北部支部の活動の様子

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：まちづくり千葉・リベルタちば・まちづくり商会共同事業体

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



■「市民活動マッチングカタログ」が完成しました！

ボランティア・市民活動マッチングプログラムの一環で企画した「市民活動マッチングカタログ2021」が完成しました。冊子の作成と併せ、データを当センターのホームページに掲載し、どなたでも閲覧やダウンロードができるようにしました。今回、特に情報を目にしてほしいと想定したのは、10歳代後半から20歳代前半の“ワカモノ”世代です。人や地域とのつながりのきっかけづくりを推進するこの企画に賛同し、掲載にエントリーいただいた登録団体は全部で25。当センターを加えた多様な分野の26団体・施設について、活動内容や場所、連絡先などの基本情報に加え、写真やアピールメッセージなども添えて、見やすく掲載されています。カタログは当センター内への配架はもちろん、市内の高校や大学・短大等をはじめ、主要公共施設にもお届けします。どうぞご活用ください！



■千葉市民活動フェスタ2021

100の思いを千の未来へ もっとつながるオンライン

11月の「千葉市民活動フェスタ」は、昨年の形式を更に進化させながら、オンライン中心に展開。密を避け、「離れて、つながるフェスタ」の準備が進行中です。

今回、ステージの発表会はありませんが、団体紹介の動画を収録する日を2回設定。きぼーるアトリウムには、今年も資料の配架コーナーやインターネット放送局を設置します。

今年は説明会もオンライン中心で実施。Zoom参加が困難な方のみ、予約の上センターにおいでください。(先着10名)説明会の様子は後日配信しますので、当日参加できない場合は必ず視聴してください。詳しくは「参加の手引き」(当センターホームページで公開中)をご覧ください。

【日程】開催期間：11月7日(日)～12月5日(日)

- 参加団体説明会 9月19日(日)【同日参加募集開始】
- 団体紹介動画収録会 10月31日(日)・11月6日(土)
- 資料の配架 11月20日(土)・21日(日)



Q&A 「一般社団法人って何ですか？」

2008年に法施行により誕生した法人格の一つ。設立時の社員数の要件は2人以上で、公証人による定款認証と登記だけで設立できることなどから、近年、市民活動を行う任意団体が、NPO法人ではなく一般社団法人を設立するケースも増えています。ただし、費用が約11万円かかることや、会費等の収入に課税されない“非営利型法人”になるに

は、さまざまな要件があるといった注意点があります。

ちなみに一般社団法人は、“私益”を目的に活動することも可能で、定款等が公開されていないと、外部からはどういった法人なのかわかりません。また、役員の役割(責任)が法律で細かく、重く定められています。行政への活動報告義務がないなど、一見、運営は楽なように思われますが、設立の際には注意が必要です。



ミニコラム ちばさぽの風 vol.45

ワカモノと市民活動の“関係”

多くの市民活動団体から、人材不足やメンバーの高齢化が課題だという話を聞きます。「どうしたら若い世代に関心を持ってもらえるのか?」という相談を受けることもあります。正直、これらの課題に万能な解決策はなく、また誤解を恐れず言えば、良い活動だからといって、必ずしも若い世代に関心を持つとは限らず、このあたりのミスマッチもあるように感じています。

ていても、「市民活動やNPO」についての知識が不十分であると認識させられました。また「ボランティア」についてのイメージも、例えばゴミ拾いや災害救援、募金など、特定の分野の活動に限定されているようでした。

しかし、関心のある市民活動団体について調べるという課題を与えたところ、自分の好きなことや、生まれ育ったまちをキーワードに調べた学生が多く、「スポーツ分野の市民活動があるとは知らなかった」「子どもの時にお世話になった団体がNPO法人だと知って驚いた」などの感想の他、「NPO法人で働くことも選択肢の一つとして考えたい」という、なんともうれしいコメントもありました。これらはワカモノが市民活動に参加したり、関心を持ったりしてもらうためのヒントになるのではないかと感じました。

以下本コラムでは、概ね10歳代後半から20歳代前半の世代を“ワカモノ”と呼ぶことにし、ワカモノと市民活動の“関係”について論じてみたいと思います。

まず、ワカモノは市民活動に関わるきっかけが少なく、正しい情報が得られていない現状があると感じています。この問題がクリアされれば、今までは「関心がない」と言っていたワカモノが、市民活動に関わるようになる可能性は大いにあると考えます。

冒頭で「万能な解決策はない」と書いてしまいましたが、この頁に報告記事があるように、当センターでは、主にワカモノに市民活動団体の情報を伝えることをねらいとした「マッチングカタログ」を作成しました。団体の方もぜひご覧いただき、他の団体がどのような活動をしているか、どのようにワカモノに“魅力”を伝えようとしているかなどを、参考にしてみたいかがでしょうか? (は)

登録団体活動紹介コーナー

軒先珈琲

活動エリア▶千葉県
所在地▶千葉県千葉市
連絡先▶090-9005-7906 dustbox@mac.com
担当者氏名▶佐藤 紘孝

「空き家バンクはじめます」。空き家、空き地、空き店舗のシャッター前などの未利用空間に、ポップアップでカフェを開きます。軒先珈琲カフェ起業講座を受けて登録した個人やその家族がパートナーズとなり、飲食店の営業許可取得や出店場所の査定などを行います。空き家に困っている町内会等をサポートします。軒先珈琲は令和3年度千葉市花見川区地域活性化支援事業採択されました。



プチ・ルポ稲毛

活動エリア▶千葉市稲毛区
所在地▶千葉県千葉市
連絡先▶petit.repos.inage@gmail.com
担当者氏名▶村 薫

「近所のおせっかいおばちゃん」を合言葉に産前産後のママ、育児の悩みを抱えるママ・パパに寄り添い気軽にほっとひといきできる居場所づくりをしています。みんなの交流の場『ほっとひといきティータイム』妊婦さん向け『マタニティータイム』個別対応『ほっとひといき』どれもママ・パパのお話を聞いてゆっくり過ごしてもらえるようスタッフが一緒にお子さんを見守ります。



活動内容は
こちら→



のぞみ会 千葉支部

活動エリア▶千葉県内
所在地▶千葉県千葉市
連絡先▶047-444-2981
担当者氏名▶上原 栄子

変形性股関節症の患者会で、本部を東京に置き私達は県内会員による活動を行っています。医療情報や福祉情報、日常生活の工夫にいたるまで仲間同士の交流によって情報交換を行うことを目的に活動しています。県内を4地区に分けて住居に近い地区での交流会も会員は楽しみの一つです。年1回の医療講演会・リハビリ講習会を開催しています。写真は今年の医療講演会・リハビリ講習会です。



NPO BRIGHT

活動エリア▶若葉区
所在地▶千葉市若葉区都賀4-8-21 1階
連絡先▶070-8410-5104 npo.bright@gmail.com
担当者氏名▶増淵 佳奈子

6月より「千葉子ども宅食プロジェクト」をスタートいたしました。
子ども宅食とはひとり親家庭に食品のお届けを通じてつながりを持ち、必要な時には適切な支援に繋げていく活動です。現在の支援対象地域は若葉区で、行政や子供支援団体の紹介の場合は千葉市全域を対象としております。また、食品ロス削減の為にフードドライブなどの食品集めもしております。



CatchUp

登録団体主催の講座等を
側面から支援

2021年度「ちばさぼセミナー」企画募集中!

ICTに関する内容の
講座等が対象です

「ちばさぼセミナー」とは、登録団体が千葉市民活動支援センターを会場にして開催する講座や相談会などを、当センターが支援する枠組みです。今年度は、パソコン操作に関する講座、オンラインの活用方法の相談、情報リテラシーやセキュリティ対策についてなど、広くICT(情報通信技術)に関する企画を対象とします。

具体的な支援内容は、当センターのホームページや「ちばさぼ通信」での紹介、チラシの通信への折り込みなどで、すべて無料。会場の優先予約や、企画内容への助言もいたします。下記に応募要件等の概要を記しますので、まずはお問い合わせからでも、お気軽にどうぞ。

○主な応募要件

- ・ICT(情報通信技術)に関する講座、相談会、研修等
- ・広く市民活動団体や市民を対象とする内容であること
- ・認定された事業は中止をせず、必ず実施すること

○開催期間・回数・会場

- ・2022年2月末までに開催するもの
- ・連続講座や定期的な相談会も可(※回数制限あり)
- ・会場を予約できる時間は、1回あたり最長4時間まで
- ・利用できる会場は、会議室または談話室

○応募方法・締切など

所定の応募用紙を、9月30日(木)までに当センター宛てメール等にてご提出ください。応募があり次第順次審査を行い、応募の受理後一週間程度を目安に、審査結果をご連絡します。審査を通過した団体とセンターとで協議を行い、実施内容を調整・確定させた上で「ちばさぼセミナー」と認定いたします。

認定数は3団体程度を予定しています。応募や認定状況によっては追加募集を行う場合もありますが、応募は1団体1回(1企画)のみとします。

ちばさぽ からの お知らせ

■まちなかボランティア養成講座(略称:まちボラ) ボランティア「はじめの一步」

「ボランティアって、なんだかハードルが高い」とお感じの方にこそ、来ていただきたい講座です。「講義」で基本的なことを学んだ後、実際にイベント等の会場で、外国人や障害のある方とのやりとりを体験する「実習」を2回、これで、「修了証」「まちボラバッジ」等が受け取れます。はじめの一步を踏み出すキッカケを、ぜひこの講座で。

日 時 ▶ 2021年10月30日(土) 13:00~16:30(講義)

会 場 ▶ 土気あすみが丘プラザ3階 会議室1
(千葉市緑区あすみが丘7-2-4)

定 員 ▶ 10名(お申込み先着順) 参加費 ▶ 無料



奥山淳さん
メジカラネット
代表理事



小亀さおりさん
元シンガポール航空
客室乗務員

■「専門家による個別相談」のご案内

市民公益活動に関する5つの分野の専門家と一対一で話ができる無料の個別相談を、通年で行っていきます。分野と日時は以下のとおり。完全予約制(開催日の一週間前の18時締切)ですので、お申込みの上ご利用下さい。また、原則として当センターを会場にして対面方式で行っていますが、オンラインでの実施をご希望の方はご相談ください。

◆日程および時間

- 税理士相談: 毎月第1土曜、第3火曜
 - 行政書士相談: 毎月第2土曜、第4火曜
 - NPO運営・市民活動入門相談: 毎月第2火曜、第4土曜
 - インターネット活用相談: 毎月第3土曜
 - 広報・PR相談: 毎月第5週の火曜・土曜
- ※各日18:00~18:50または19:00~19:50の2枠。
※祝日および年末年始は開催されません。

■市民活動ステップアップ講座 「地域づくりの視点からSDGsを学ぼう!」開催

今回のステップアップ講座のテーマは「SDGs」。言葉を目や耳にする機会は増えていると思いますが、市民活動や地域づくりを行う上で、どのように意識したらよいのでしょうか?本講座では、SDGsとは何かの基礎知識を得る講義に加え、団体の活動とSDGsとのつながりを考えるワークも行います。市民活動の価値をより高め、「誰ひとり取り残さない」社会の実現について考えるきっかけとしませんか?「オンライン参加(Zoomを利用)」と、「会場にお越しになって対面参加」のいずれかの方法が選べます。

日 時 ▶ 2021年10月9日(土) 10:00~12:00

会 場 ▶ オンラインおよび千葉市民活動支援センター会議室

講 師 ▶ 星野智子さん(一般社団法人環境パートナーシップ 会議 副代表理事、チームSDGs稲毛)

定 員 ▶ オンライン30名程度、対面8名(お申込み先着順)

締 切 ▶ 10月6日(水) 18:00 参加費 ▶ 無料

■話し方実践講座

コロナ禍で、オンラインが多くなったとはいえ、会議やグループワークで、要領を得ない話し方や、つい長々と話してしまった経験はありませんか?『即興スピーチ術』を出版した講師が、皆さんのお悩みを解決します。ぜひ、ご参加ください。

日 時 ▶ 2021年11月29日(月) 13:30~16:30

会 場 ▶ オンラインのみ(Zoomミーティングを利用)

講 師 ▶ 大嶋友秀さん(株)スピーキングエッセイ代表取締役

定 員 ▶ 40名(定員を超えた場合は締切後抽選)

締 切 ▶ 11月15日(月) 18:00 参加費 ▶ 無料

対 象 ▶ 千葉市在住・在勤・在学・在活動の方でZoom経験者

○お申込み方法(すべての講座・事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①講座名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)、
- ④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

※オンライン参加を希望の方は、メールで申込み下さい。



災害とバリアフリー

災害のニュースが毎日伝えられる中、何かあった際の「安心」について考える上で、バリアフリーの視点は不可欠だと痛感します。避難所で、目の見えない人や足の悪い人は安心して歩けるのか、段ボールの避難ベッドは、体の不自由な人にも使えるか、支援の物資の配布に、日本語だけの貼り紙やアナウンスだけでいいのか、赤ちゃんを連れた人にはどうか……。

不自由のない人でも、避難所では無数の「困った」に直面するもの。まして何らかの「違い」を持つ人にとって、その悩みは大きくなります。

千葉市民活動支援センターには、防災や避難所運営に関わる活動をしている団体や、障がい者や高齢者の支援に取り組む団体が多数登録しています。こうした団体が連携し、情報を発信・共有することで、千葉市の「安心」レベルを上げることができるのではないのでしょうか。マッチングの一つの視点になりそうです。

編集後記

■2021年の夏は、猛暑に災害にと緊張続きでしたね!そんななか、秋の気配を感じると、なにか“ほっと”するこの頃です(さ) ■台風明け、骨だけになった傘が街路樹の根元に。まるで贅肉を削ぎ落とした修験者のように見えました。煩惱みれの日々を猛省。(や) ■久しぶりに「印刷通販」を利用。キャンペーン中とは言え料金が激安だったので、消費者としてはうれしい反面、どこかで“ひずみ”が生じていないか気になってしまいました。(は) ■コロナワクチン、2回接種終わりました。何となくホッとしています。(か) ■セミの声から虫の声に、桜→向日葵→秋桜、家にこもっている間に季節が移り変わります。(な)